

鳥取県立美術館 創作の森
屋外作品完成記念
イベント

オープン・フォレスト!!

OPEN!

#1

オープニング・セレモニー
トーク・交流イベント

2026

9.6 *sun*

リクリット・ティラヴァニ×SUPERFLEX

#2

パフォーマンス・対談
交流イベント

2026

11.14 *sat*

鈴木昭男+宮北裕美+水沢 勉

創作の森!

ひらけ!

アーティストとはじめるあたらしい場所

鳥取県立美術館の西側屋外エリア「創作の森」に完成する
リクリット・ティラヴァニ、SUPERFLEX、鈴木昭男による
3つの屋外作品の公開を記念して、アーティストたちとともに祝い、
楽しむ2日間の特別プログラムを実施します

鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

オープン・フォレスト!

TALK & GATHERING : リクリット・ティラヴァニ × SUPERFLEX

2026.9.6 sun 11:30-18:00 / at 鳥取県立美術館 創作の森 (西側屋外エリア)、1F ホール

聴講・参加無料

#1

11:30-11:45
11:45-13:30

オープニング・セレモニー
はじめてのスウィング!

会場: 共に創作の森 [予約不要]
SUPERFLEXの3人乗りブランコ《One Two Three Swing!》を初公開。
友達や家族と一緒に、記念すべき“初乗り”をお楽しみください!

予約制・先着順

14:00-15:30

会場: 1F ホール
定員: 50名
定次通訳あり

アーティスト・トーク「作品からはじまる、美術館と公共のかたち」
鳥取県立美術館のキーコンセプト「OPENNESS!」を手がかりに、人が集い、使うことで立ち上がる作品から、開かれた美術館と、そこに生まれる新たな公共のあり方、その可能性について語ります。

出演: リクリット・ティラヴァニ、ビョルンステルネ・クリスチャンセン (SUPERFLEX)
交流イベント「森の窯開き: オープン・オープン! & ワン・ツー・スリー・スウィング!」 [予約不要]
リクリット・ティラヴァニのスペシャルな窯付きベンチでピザや窯料理づくりにチャレンジ!

16:00-18:00

会場: 創作の森

3人乗りブランコとあわせ、作家を囲み、作品のまわりに生まれる時間と出会いを楽しみます。

リクリット・ティラヴァニ

1961年、ブエノスアイレス生まれ。タイ出身で、現在はニューヨーク、ベルリン、チェンマイを拠点に国際的に活動している。1990年代以降、料理や食事、会話、共同作業など、人々の参加によって生まれる時間や関係そのものを作品として提示してきた。展示空間を、作品を鑑賞するだけの場所ではなく、人々が集い、過ごし、交流する場へと変える実践で知られている。絵画、映像、版画、音楽、建築といった様々な要素を含むインスタレーション作品は、関係性の美学と位置づけられている。現在、コロンビア大学芸術大学院にて教鞭を執る。



photo Daniel Stjerne

域住民の提案を取り入れ、2012年にコペンハーゲンで実現した大規模な公共空間である《Superkilen》が代表作として知られている。

SUPERFLEX (スーパーフレックス)
デンマークを拠点とするアーティスト・グループ。1993年、ヤコブ・フェンガー、ビョルンステルネ・クリスチャンセン、ラスムス・ローゼングレン・ニールセンにより結成。庭師やエンジニア、子ども、観客など、さまざまな人と協働しながら、社会や経済のあり方を問い直し、そこに新たな選択肢を示す活動を行っている。地

PERFORMANCE, TALK & GATHERING : 鈴木昭男 + 宮北裕美 + 水沢 勉

2026.11.14 sat 14:00-18:00 / at 鳥取県立美術館 創作の森 (西側屋外エリア)

聴講・参加無料

#2

14:00-15:30

鈴木昭男 + 宮北裕美によるパフォーマンス [izana i]
創作の森に設置された彫刻《izana i 2026》とその周りの広場を舞台に、完成を祝うパフォーマンスを行います。

[予約不要]

特別対談: 鈴木昭男 + 水沢 勉 「ば と からだ と ひびき」
長年にわたり鈴木昭男と親交の深いキュレーター・水沢 勉を迎え、創作の森に生まれた作品や制作の背景、場や身体、響きについて語り合います。

予約制・先着順

16:00-18:00

交流イベント「オープン・テーブル!!!」
アーティストや参加者と食卓を囲み、ピザや煮込み料理などの窯料理を味わいながら、気軽に交流を楽しみます。

[予約不要]

鈴木昭男

1941年生まれ。1963年、名古屋駅の階段で行った《階段に物を投げる》イベントを起点に、自然や空間に働きかけ、そこから生じる響きや変化をたどる「自修イベント」を通して、「聴く」ことを探求してきた。1970年代からは、エコー音器《アナラボス》をはじめとする独自の音器を制作するとともに、素材そのものから音を探る「コンセプチュアル・サウンドワーク」を展開。1996年からは、戸外で音の響きを聴く場所を探る「点 音」プロジェクトを世界各地で展開している。

宮北裕美



舞台芸術での出演や振付を経て、「立つ」「歩く」「座る」といったシンプルな動作や、身の回りのもの、日常の現象のなかにダンスを見だし、即興パフォーマンスと視覚芸術の可能性を探っている。近年は、公共空間や自然環境など、場所の特性を生かしたサイト・スペシフィック・パフォーマンスを数多く手がけている。

水沢 勉

美術史家、美術評論家、キュレーター。現在、美術館連絡協議会の会長を務める。2011年から2024年まで神奈川県立近代美術館の館長を務めた。モダニズムを軸に、日本の近現代美術と同時代の世界との関係に関心を寄せ、研究、展覧会企画、執筆、講演など幅広く活動している。2004年にはサンパウロ・ビエンナーレ日本コミッショナー、2008年には「横浜トリエンナーレ 2008 TIME CREVASSE—タイムクレヴァス—」総合ディレクターを務めた。



OPEN FOREST! website

○9/6 アーティストトーク、11/14の特別対談はwebsiteの予約フォームより申し込みください。

○雨天の場合は一部プログラムを変更して実施します。詳細はwebsiteにてお知らせします。



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12 TEL 0858-24-5442 (代表)
X @tottori_moa @tottori_moa_2025 f @tottori.moa @tottori_moa
https://tottori-moa.jp